

# 函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

## 第20回会議 会議録（要旨）

### 1 日 時

令和6年9月3日（火）19：00～20：00

### 2 場 所

函館市医師会病院5階講堂

### 3 出欠状況

メンバー：阿部部会長，川口副部会長，川村メンバー，室田メンバー，益井メンバー，白川メンバー，京谷メンバー，山上メンバー，齋藤メンバー，橋浦メンバー  
部会運営担当：（函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，近藤，花輪，三浦  
事務局：（函館市保健福祉部地域包括ケア推進課）渡辺主査，根崎主事  
オブザーバー：（ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター）眞嶋

### 4 議 事

#### ○報告事項

1. 令和6年度 多職種連携研修計画 進捗状況（資料1，2）
2. 研修情報の一元化と提供について（資料3）

#### ○協議事項

1. 研修情報一元化と提供に関する規定（一部改訂）について（資料4，5）
2. 第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会について（資料6，7，8，9）  
・グループワークの進め方

### 5 会議の内容

#### 根崎医療・介護連携担当

ただ今から，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会 第20回会議を開催いたします。前回の会議でも確認いたしておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，第19回の会議録についてですが，事前に各メンバーの皆様にご確認をさせていただきました。事務局の方には，特に修正の意見がございましたので，原案どおりで，第19回会議録を確定し，市のホームページ上で公開させていただきました。

次に，本日の欠席者について報告いたします。本日は，一般社団法人 函館薬剤師会 水越様，公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部 鹿角様，函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 宮城様がそれぞれ所用により欠席となっております。また，道南在宅ケア研究会

の川口様より、少々遅れるとのご連絡をいただいております。

次に、部会メンバーの交代がございましたので、ご紹介させていただきます。函館地域医療連携実務者協議会から船山 俊介様に代わりまして、函館五稜郭病院 橋浦 大希様が部会メンバーとして就任されました。橋浦様には、医療と介護の連携について、簡単にご挨拶をいただきたいと存じます。それでは橋浦様、よろしく申し上げます。

### 橋浦メンバー

ただ今ご紹介いただきました、函館五稜郭病院 橋浦と申します。改めましてよろしくお願ひいたします。私は、函館地域医療連携実務者協議会の担当ということで、この連携の分野には今年度から携わりはじめまして、皆様色々な会で様々なお話をされており、私はまだまだ勉強の途中ではありますが、密接な顔の見える関係が大事かと思っておりますので、少しでもお力になればと思っております。よろしくお願ひいたします。

### 根崎医療・介護連携担当

橋浦様、ありがとうございました。また、部会長、副部会長の交代がございましたので、ご紹介いたします。新しく多職種連携研修作業部会 部会長にご就任いただきました、一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部の阿部 綾子様でございます。また、道南在宅ケア研究会の川口 篤也様には、副部会長にご就任いただいております。阿部様から、ご挨拶をいただきたいと思っております。

### 阿部部会長

ただ今ご紹介いただきました、北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部の阿部と申します。前回までは副部会長としてやっておりましたが、今回から部会長ということで、皆様の活発な意見をまとめて伝えていければと思っております。変わらず、よろしくお願ひいたします。

### 根崎医療・介護連携担当

阿部様、ありがとうございました。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。会議次第1枚、資料1から9まで、全部で裏表の印刷含め合計14枚、座席表と出席者名簿を机上に配布させていただいております。

本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。それでは阿部部会長、お願ひいたします。

### 阿部部会長

それでは、次第に従い議事を進めてまいります。報告事項1、報告事項2に関して、花輪幹事から説明願ひます。

### 花輪幹事

皆様、こんばんは。幹事の花輪です。報告事項1「令和6年度 多職種連携研修計画 進

捗状況」，報告事項2「研修情報の一元化と提供について」につきまして，ご報告いたします。3月にご協議いただきました計画に沿って実施，また準備を進めているところがございます。資料1をご覧ください。資料2の「令和6年度 多職種連携研修実績および予定表」と合わせてご覧いただければと思います。

#### (1) 相互理解の促進

①医療関係者向け研修ですが，今年度より数年ぶりに同テーマ・同講師・同内容で全3回の開催として実施しております。テーマは「退院後，施設でどのような生活をしているか知っていますか？」で，講師は特別養護老人ホーム百楽園 主任相談員 高木 健太郎様，サービス付き高齢者向け住宅 サンライズ函館 施設長 鈴木 文香様をお願いしております。1回目は，令和6年6月19日水曜日，函館脳神経外科病院において開催いたしました。22名の函館脳神経外科病院の職員の方を含む85名の方にご参加いただきました。2回目は，令和6年8月29日木曜日，函館中央病院において開催いたしました。31名の函館中央病院の職員の方を含む68名の方にご参加いただきました。3回目は令和7年2月頃，函館市医師会病院での開催を予定しております。

②介護関係者向け研修ですが，こちらも医療関係者向け研修と同様に同テーマ・同講師・同内容で全3回の開催となります。テーマは「急性期病院の事情について ～思いやりのある連携～」で，講師は市立函館病院 入退院支援課 入退院支援係長 熊倉 慎治様，函館脳神経外科病院 医療相談室 主任 阿部 綾子様をお願いしております。1回目は，令和6年6月13日木曜日，120名の方にご参加いただきました。2回目は令和6年8月30日金曜日，70名の方にご参加いただきました。1，2回目ともに函館競輪場で開催しております。3回目は令和7年2月18日火曜日の19時から20時に，北斗市農業振興センターにおいて開催を予定しております。

③オープンカンファレンスですが，令和6年6月27日木曜日に第1回目を開催いたしました。共催は函館市医師会病院，開催場所も同病院としております。内容は「特養から2次救急病院へ搬送された高齢者の症例」で，進行役は函館稜北病院 副院長 川口 篤也先生，登壇者は症例に関わった医療・介護の多職種の方々となっております。111名の方にご参加いただきました。

④研修会等コーディネートですが，令和6年8月16日に，各関係団体窓口一覧を更新し，当センターホームページに掲載しております。

#### (2) 連携強化

①看取り&連携強化「第9回函館市医療・介護連携多職種研修会」につきましては，のちほど協議事項で皆様にお話させていただきます。

②入退院支援「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」ですが，令和6年11月15日金曜日の18時から20時に，函館市医師会病院での開催を予定しております。テーマは「関わっているその人のイメージの共有，ズレているかも？～病院・在宅間のズレないイメージの情報共有とは～」となっております。内容は，「①イメージのズレを考える」として，北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部 医療相談員 岩城 朋美様からの発表，「②グループワーク」として，発表を受けて，普段の日常業務でのイメージのずれはなぜ起こるのか，ズれる事での困り事について話し合い，今後に向けてグループ内でディスカッションする予定となっております。

③急変時対応「令和6年急変時対応研修会」ですが、令和7年2月に開催を予定しております。

#### (3) 多職種連携の専門性の向上

令和6年7月17日水曜日に東央部第2圏域ケアマネ懇談会にお招きいただき「『地域みんなでご本人の思いをつなぐ』～ACPツールもしもノートはこだて人生会議説明書～」として、もしもノートについてお話をする機会をいただきました。

#### (4) 人材育成

センター主催研修会への見学参加ですが、各医療、介護系の学校へ研修会開催の都度、研修案内を配信しております。

配布資料には記載しておりませんが、センターホームページ「コラム」の掲載について、口頭で報告させていただきます。センターホームページ「コラム」の掲載についてですが、昨年度より医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能として、2～3ヶ月毎に掲載しております。7月4日にデイサービスセンターながだい 代表 工藤 晃士様にお願いし、「通所介護」のコラムを掲載しております。令和6年4月から令和6年7月までの閲覧件数は計104件となっております。今回は、小規模多機能ホームアニー 渡部 良仁様の「小規模多機能ホームについて」のコラムを9月に掲載予定です。

次に、報告事項2「研修情報の一元化と提供について」、ご説明いたします。資料3をご覧ください。令和6年4月から令和6年8月までに掲載した地域の研修情報は合計11件となり、昨年と同時期と同等の掲載件数となっております。

その他として、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催研修会が1件、各団体との共催研修会が2件、函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催研修会が5件となっております。引き続き研修の情報がありましたら、情報提供にご協力いただけますと幸いです。

報告事項1「令和6年度 多職種連携研修計画 進捗状況」、報告事項2「研修情報の一元化と提供について」の報告は以上でございます。

### 阿部部会長

それでは、報告事項1、報告事項2に関して、皆様からご発言をいただきたいと思っております。ご意見、ご質問等はございますか。

### 京谷メンバー

包括支援センターの京谷です。研修会で相互理解の促進ということで、複数回に分けて同じテーマで開催していると報告をいただきましたが、複数回開催してもらえることで、参加がしやすくて良いと思います。それぞれの現場で会議が入っていたり、業務や私用があったりと、残ることができないこともあります。1日だけだと逃してしまうので、同テーマで開催していただけることは本当にありがたい環境かと思っております。

また、医療関係者向け研修会の開催場所を急性期の医療機関としていることについて、1回目の函館外のときに参加しましたが、いつもの研修会と顔ぶれが違って、病院のスタッフが多く参加している印象でした。先ほど中央病院の参加者数も多かったとお聞きしましたが、忙しい方に合わせて会場を選択していき、より多くの方に参加をしていただく配慮も

良く、医療関係者の参加が増えていくことはとても貴重であり、効果的な取り組みだったのではないかと思います。

### 阿部部会長

他に、ご質問ございませんでしょうか。(なし)

それでは、報告事項1、報告事項2に関しては以上で終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。(異議なし)

続きまして、協議事項1について、幹事から説明願います。

### 花輪幹事

協議事項1「研修情報一元化と提供に関する規定(一部改訂)について」ご説明いたします。資料4をご覧ください。

本規定は、平成30年度の第9回多職種連携研修作業部会において承認いただいたもので、当初は函館市内の医療・介護関係者が必要な研修情報を入手できるよう、ホームページ上で公開することを目的としておりました。しかし、現在はほくと・ななえ医療・介護連携支援センターが設立されたことや、この地域の特性として、函館市・北斗市・七飯町の3市町に渡って支援を行う関係者が多いことを鑑み、本規定内で「函館市内」としていた文言を「函館市・北斗市・七飯町」に変更したいと考えております。

資料5の「研修情報の一元化の取組と情報提供のご協力のお願について」も、函館市内という文言を同様に変更したいと思っております。また、資料5の2ページ目「研修予定掲載申し込み書」のフォームについてですが、前回部会時にご意見をいただき、中身の見直しを行っていくとご報告させていただいておりました。以前よりは記載内容が明確になり、よりわかりやすくなったのではないかと考えております。研修案内チラシの有無に関わらず、必要に応じてご活用いただきたいと思いますと考えております。なお、ご承認いただきましたのち、例年同様、改めて各団体長の皆様に新しい掲載申し込み書と共に研修情報の一元化についてのお願いメールをお送りする予定です。

協議事項1の説明は以上でございます。規定の一部改訂および研修予定掲載申し込み書の新しい様式についてご協議願います。

### 阿部部会長

それでは、協議事項1に関して、皆様からご発言をいただきたいと思います。

### 橋浦メンバー

掲載の条件に書かれている、「公益性があり、営利目的ではない研修会であること」の線引きはどういったことなのか教えていただきたいです。

### 佐藤幹事

例えば、薬剤メーカーが主催となっていたり、商品紹介があるような研修会をご遠慮させていただいておりました。メーカーのお名前があることで宣伝効果が伺えそうな形となりますと、ホームページへの掲載は控えさせていただいております。

### 橋浦メンバー

わかりました。ありがとうございます。病院の方で、年度末にかけて6件くらい企画がございますが、やはりメーカーと協賛となると、薬の紹介があるので、どこまでお願いできるか確認させていただきました。

### 阿部部会長

その他に質問やご意見はありますでしょうか。

### 山上メンバー

訪問リハビリテーション連絡協議会の山上です。今の橋浦さんの質問に合わせる形となりますが、参加費を頂戴しないといけない場合がありますが、それは営利目的にならないという捉えでよろしいでしょうか。

### 佐藤幹事

参加費に関しては、特段営利目的とはしておりませんが、その金額が膨大な金額でとなると話は変わってきます。ただ、会の規定内での定めであれば営利目的にならないという捉えでよろしいかと思えます。

### 山上メンバー

わかりました。

### 阿部部会長

その他、ご意見はございませんでしょうか。(なし)

協議事項1に関しては以上で終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。(異議なし)  
続きまして、協議事項2について、幹事から説明願います。

### 花輪幹事

協議事項2「第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」、ご説明いたします。資料6, 7, 8, 9をご参照ください。まずは、資料6の「研修概要書(案)」をご覧ください。こちらは、研修会の研修概要書となります。

日時は令和6年10月19日土曜日の14時から17時、開催場所は例年使用している国際ホテルの2階天平の間です。定員はグループワークへの参加が240名、聴講席60名の、計300名を予定しております。今回より聴講席を復活しておりますが、できるだけ多くの方にグループワークにご参加いただければと期待しております。研修会終了後は懇親会を予定しております。テーマは「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」で、目的は、「その方らしい生き方を実現していくため、加齢や疾病による影響から心身の状態が変化していく本人の不安や葛藤などに寄り添い、もしもの時に本人の想いを見逃さないように、支援に関わる一人ひとりが意識していけること」としました。座長は北美原クリニック 岡田 晋吾先生、シンポジストは、函館稜北病院 副院長 川口 篤也先

生、市立函館病院 緩和ケア科科长 山崎 裕先生、訪問看護ステーションフレンズ 統括  
所長 保坂 明美様、グループワークの進行役は函館市地域包括支援センターたかおか 施  
設長 松野 陽様をお願いしております。研修構成ですが、シンポジウム形式で、座長の岡  
田先生の進行のもと、シンポジスト3名の講演後、ロールプレイ動画の視聴とグループワ  
ークを挟み、意見交換・質疑応答を行う予定となっております。

資料7をご確認ください。全体のタイムスケジュールとしましては、過去の研修会を参考  
にした時間配分としております。総合司会は水越様、懇親会の司会は阿部様をお願いして  
おります。部会のメンバーの皆様には、グループワークの際のファシリテーター、会場誘導係、  
カメラ係、マイク係をお願いできればと思っております。各々の役割分担につきましては、  
部会終了後にファシリテーター会議を実施いたしますので、その際にご説明させていただき  
たいと思います。その他、当日の受付や会場準備等はセンター職員と医師会病院の職員で担  
当いたします。なお、今後の予定ですが、本日の部会で承認いただいたのちに案内文書を発  
送、申し込み締め切りは10月中旬頃としております。

次に、グループワークの進め方についてです。資料8をご覧ください。資料9の「個人ワ  
ーク・グループワークについて」と合わせてご覧いただければと思います。グループは、多  
職種でのメンバー構成といたします。資料8の2ページ目、タイムテーブルに記載してあり  
ますが、まず初めにロールプレイ動画を視聴していただき、個人ワークを実施、その後グル  
ープワークとなります。

個人ワークは、実際にもしもノートを自分ごととして考えていただき、その内容を資料9  
の2ページ目の「もしもノート記入シート」に記入いただきます。記入シートにある「選ん  
だ理由」というところが大切で、ここが実際に支援する時にもご本人がそれを選択した背景  
やチェックだけでは伝わらない思いというものになるかと思えます。8月23日の打ち合わ  
せの際、皆様から出ていたご意見にもありましたが、これらの思いを大切につないでいける  
よう、まず自分ごととして考えてみる機会となればと考えております。2ページ目裏面の  
「(1) 実際に自分ごととして考えてみた感想」, 「(2) 自職種の立場で患者・利用者の支援  
をするとしたらどのように対話するか?」についても記入いただきます。

資料8の3ページ目のグループワークのテーマですが、「(テーマ1) 感想(個人ワーク(1)  
について、シンポジストの話しを聞いての気づき等)」, 「(テーマ2) 明日から自分たちがで  
きそうなこと(個人ワーク(2)について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思  
うこと等)」としております。グループ内の司会の進行でテーマに沿って意見交換し、書記  
が模造紙に記入しグループ内で共有。グループワーク終了後、発表～意見交換～総評とい  
う流れで進めていきます。この時には、ご講演いただいた3名のシンポジストに加え、情報共  
有ツール作業部会から松野さんにも登壇いただき、参加者と意見交換や質疑応答をしてい  
きます。その後、座長と各シンポジストの皆様から総評をいただく予定としております。グル  
ープ内の役割についてですが、司会は事務局であらかじめ指名し、書記、発表者はグル  
ープ内で決めてもらう予定としております。模造紙のイメージは、資料8の3ページ目に記載  
している形のものを用意する予定です。懇親会は研修会后、17時30分から開催予定とな  
っております。

長くなりましたが、協議事項2「第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」  
の説明は以上になります。研修会の進め方についてご協議いただければと思います。

## 阿部部会長

花輪幹事，説明ありがとうございます。

それでは，協議事項2「第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会」について，グループワークの進め方について皆様からご発言をいただきたいと思います。

ご質問，ご意見はございませんか。

## 山上メンバー

訪問リハビリテーション連絡協議会の山上です。昨年ファシリテーターとなり，テーブルを何卓か受け持ちましたが，割り振ってもらった担当のテーブルの中でグループの司会がわからず，誰に話しかければいいのか困ってしまうことがありました。今回も事前にグループの司会との打ち合わせがあると思うので，誰が司会かわかるようにしていただけるとやりやすいかと思います。

## 佐藤幹事

お名前がわかる形以外にもということでしょうか。お顔がわかればよいということでしょうか。

## 山上メンバー

名前は聞いたことはありますが，お顔がわからないため，その方かどうか一致しないことがあります，戸惑ってしまうことがありました。受付されたか報告があると大変助かります。

## 佐藤幹事

参加人数にもよりますが，当日受付も混雑している状況だと難しく，センター職員も受付担当とのコンタクトが難しいところがあります。センター職員としても，司会をお願いしている方が来場したことがわかればつなぐことができるかと思いますが，何かしらトラブルが発生していると，余裕がないときがあります。司会をお願いした方で，センター職員もお顔を存じ上げない方もおり，司会をお願いした方のお名前を伝え，担当のグループ席にその方が来たか確認してもらえればと思います。

## 山上メンバー

ふと思ったのですが，サイゴロウさんのカードみたいなものを司会に持ってもらうのはどうですか。

## 橋浦メンバー

名刺みたいなものを首から下げてもらうのはどうでしょうか。

## 佐藤幹事

名札は下げてもらっておりますが，その方の筆跡によっては見えにくいということもあります。

## 花輪幹事

ネームホルダーの紐の色を変えるのはどうでしょうか。昨年ファシリテーターの皆様には参加者のネームホルダーの紐の色を変えたものをお渡ししていたかと思います。そのように、司会のネームホルダーの紐の色を変え、首から下げてくださいと、遠くからでも判別しやすくなるのではないのでしょうか。

## 山上メンバー

大変素敵だと思います。

## 佐藤幹事

では、ファシリテーターの皆様と同じ色にはなりますが、同色の紐のネームホルダーをご用意いたします。

## 阿部部会長

その他にご質問、ご意見はありますでしょうか。

## 川村メンバー

歯科医師会の川村です。昨年ファシリテーターをやった感想になりますが、ファシリテーターが司会に説明する時間があまり確保されていなかった気がします。このタイムスケジュールですと、どこにあたりますか。昨年は3つのテーブルを担当しており、3つのテーブルの司会がすぐに集まってくれたので宮城メンバーと早めに説明を始めることができましたが、ギリギリに来る方や遅れてくる方だと、説明できない状態で研修会が始まってしまう。5、6分でも時間を取れるものですか。

## 佐藤幹事

この研修会のタイムスケジュールを非常にタイトに設定しているため、研修中にとというのが難しく、もしお時間を取っていただくとしたら、休憩時間でしょうか。3名の講師のご講演が終わり、グループワークへ移る手前に休憩時間を設けておりますので、そこでご説明していただくお時間が取れるかと思います。それか、部会終了後のファシリテーター会議でもご相談させていただこうかと思っておりましたが、昨年度のように研修会開始の少し前に司会の方に集まってもらい、ファシリテーターと顔合わせ兼打ち合わせみたいな形を設けていたので、今年度も同様の形でよろしければ、司会の方にはご足労をかけますが、同様の対応をしていこうかと考えておりました。

## 川村メンバー

わかりました。もう1点よろしいでしょうか。前回の会議の後に、室田さんが出られているもしもノートの動画をみましたが、最後の質問の「あなたの思いを推定できる人がどなたかいますか」というところで、室田さんから「友人でもいいですね」という発言がありました。会場で同様の質問があった際は、「家族でも友人でもいいです」と返答してもよいです

か。統一した回答を用意しておいたほうがいいと思いますが、どうですか。ファシリテーターによって、「家族以外はダメです」など、回答にバラつきがあるとまずいと思います。

### 佐藤幹事

今川村メンバーが発言されたご回答で問題ないかと思います。

### 阿部部会長

その他にご質問、ご意見はありますでしょうか。

### 京谷メンバー

先ほどの司会との打ち合わせですが、司会の方は慣れている方を選定されているかと思いますが、毎年バタバタする中で打ち合わせが行われているかと思います。例えばですが、司会の方に少し早く来てもらえるよう連絡するときに、お手数でなければグループワークの進め方を送り、見てきてもらうのはどうですか。事前に見てもらうことでグループワークのイメージが付き、心構えもできているので、当日の打ち合わせは確認作業で済むと思いますが、いかがでしょうか。

もう1点ですが、模造紙への記入は、字のサイズや書き方は皆さんの自由になると思いますが、発表時会場の参加者への見せ方はどのようにしていきますか。発表者の近くに座っている方は、記入されている内容がある程度把握できるので、集中して聞けるかと思いますが、遠い方だと内容が把握できず、漠然と聞いている方もいるかと思います。発表グループの模造紙の写真を撮り、PCに取り込み、パワーポイントのスライドに反映させ、スクリーンに投影すると、会場全体で見ることができるのではないのでしょうか。記載されている内容を見ながら話を聞けると、また理解度も違うと思います。

### 佐藤幹事

昨年チャレンジしてみましたが、うまく反映できずに見えにくい結果となっておりました。今回は、参加者の皆様が見やすい形となるよう、花輪幹事の方で試行錯誤しているので、準備ができ次第メンバーの皆様と共有できるようにいたします。

### 阿部部会長

先ほど京谷メンバーがお話していた、司会の皆さんに事前にデータを渡し、当日早めに来てもらうだけでなく、当日打ち合わせをする集合場所も決まっているといいと思います。会場内でたくさんの参加者から、ネームホルダーの紐の色だけで司会の方を探すのは大変だと思います。

### 佐藤幹事

では、司会の方には会場に到着後、打ち合わせを行う集合場所と時間を伝えるようにします。昨年はファシリテーターごとに担当グループの司会のところへ行き、説明をしてもらっていましたが、今回は担当されるグループ席のどこか1箇所に数名集まってもらい説明するか、決まった場所に集合してもらい一斉に説明するか、どういった形がよろしいでしょうか。

## 白川メンバー

道南訪問看護ステーション連絡協議会の白川です。もし集まるのであれば、難しい説明がないのであれば一斉に集まるのでいいかと思います。ファシリテーターが司会の方を順に探して説明していく作業は大変かと思います。

## 佐藤幹事

できればですが、打ち合わせはファシリテーターと司会との顔合わせも目的としておりました。ファシリテーターが司会に説明することで互いを認識し、距離も縮まるかと考えております。センターとしても、どのような方法がいいか検討してみます。

## 白川メンバー

各グループの司会に集まってさえいただけたなら、ファシリテーターの方で、自己紹介からグループワークの流れ等の打ち合わせが可能かと思います。

## 佐藤幹事

そのような対応をしていただけると、とても助かります。

## 阿部部会長

今のお話だと、ファシリテーター主導で司会の方とグループワークの手順の共有をしていく形でよろしいですか。

## 京谷メンバー

もし集まる場合、会場内だと久しぶりの顔合わせのご挨拶等で騒がしい状況になっているので、ロビーの受付裏の一角に広いスペースがあるので、そこだと会場内の雑音を気にせずお話ができると思います。

## 佐藤幹事

では、司会の方には、事前に何時何分までにロビーまで来てください、と伝えます。

## 阿部部会長

ありがとうございます。その他ご質問、ご意見はありますか。(なし)

それでは、協議事項2「第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会」について、先ほど皆様からお話しいただいたとおり、この内容で進めるということによろしいでしょうか。(異議なし)

それでは、次回の部会について、運営担当の幹事から説明願います。

## 花輪幹事

次回の部会は、改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承願います。

## 阿部部会長

最後に、全体を通して何かご意見・ご質問等はありませんか。(なし)  
他になければ、全ての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

## 根崎医療・介護連携担当

阿部部会長，ありがとうございます。

それでは，以上をもちまして，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部の第20回会議を終了いたします。

皆様，お疲れ様でした。